

ちょうせん!! おさらいクイズ

ねん 年	くみ 組	なまえ 名前	
---------	---------	-----------	--

① どんなきけんがあるか考えよう



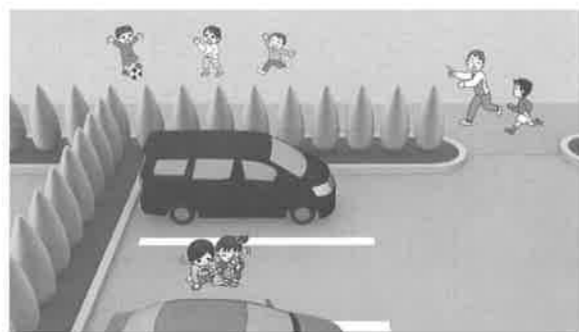
1. 交差点を走ってわたる



2. 友だちとふざけたり、あそびながらわたる

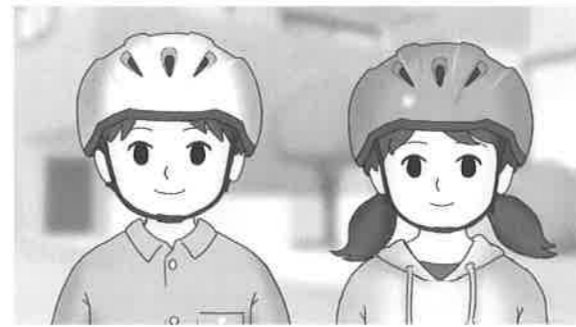


3. 公園からきゅうにとび出す



4. ちゅう車場であそぶ

② 正しいのり方に「○」、まちがっているのり方には「×」をつけよう。



1. ヘルメットはあごひもをしめる



2. 道の左がわを走る



3. 友だちとならんで走る



4. 前を見ないでうんてんする

チャレンジ ワーク!

通学路にあるきけんな場しょを考えて、はっぴょうしよう! また、どうすればあんぜんに通うことができるかも考えて話し合おう!

基本編②

保護者のみなさまへ

交通安全に関するお知らせ

お子さまが成長するにつれ、一人で、またはお友だち同士で行動する機会が増えてきます。学校では、保護者の方がいないときでも道路を安全に歩けるように、交通安全教育の一環としてDVD視聴の機会を設けました。ご自宅周辺の交通事情や環境に照らして、ご家庭でもこの授業の復習を一緒に行い、身近な地域の交通安全についてお子さまと話し合ってください。また昨今、自転車保険・共済加入の義務化が進んでいます。自転車は被害者だけでなく、加害者になる可能性もあります。万が一に備え、積極的に加入しましょう。

子どもに伝えて！外出時のお約束

- ① 道路を横断するときは横断歩道を自転車を押して渡りましょう。
- ② 信号が赤のときは止まる。青のときでも左右を見て車が止まったのを確認してから渡りましょう。
- ③ 信号機がない所は、左右を見て車が来ていないか十分に確かめてから渡りましょう。
- ④ 道路や駐車場、車の周りで遊ぶのはやめましょう。
- ⑤ 道路に出るときは、急に飛び出さず一度止まって、車が来ていないか確認しましょう。
合言葉は **止まる** **見る** **待つ** です！

一人で自転車に乗る前に

自転車に乗り始める低学年の児童に対しては、まず自転車に一人で安全に乗れるかどうか、次のことを確認しましょう。



自転車の基本ルールが守れるか



両足のつま先が地面につくか



低速で、バランスを取って走れるか



ブレーキできちんと停止できるか

ポイント

家庭における交通安全指導

●よいお手本になりましょう

安全な行動は、周囲の大人や保護者が繰り返し教えることで身につきます。お手本となるべき大人が、青信号の点滅時に子どもを急かして渡り始めたり、横断歩道以外の場所を渡ったりするなど、交通ルールを無視した行動をとることがないようにしてください。

●親子で話し合しましょう

交通ルールやマナー、交通安全について親子で積極的に話し合しましょう。一緒に外出して危険な場面を見たときなどは、子どもが具体的に危険な交通行動を理解しやすい場面です。日常的な会話を通じて、安全な行動への理解を深めましょう。

子どもたちからのメッセージ

学校で見たDVDの内ようを下に書いて、おうちの人に教えてあげましょう

まもっているかな？

いつも見えるところにはってね！

自てん車じしゃにのるときのおやくそく

▶ 正しく自てん車じしゃにのれるかな!?

自てん車じしゃにのるときのおやくそくをまもろう!

- ① ヘルメットは正しくかぶる
- ② 道の左がわを走る
- ③ ならんで走らない
- ④ きょうそうをしない
- ⑤ 歩道は歩く人ゆう先でゆっくり走る
- ⑥ お家の人と走ろう



▶ ひょうしきをおぼえよう

一時停止



一時ていして左右のあんぜんをたしかめてからすすみます。

横断歩道・自転車横断帯



近くにおうだん歩道と自てん車おうだんたいのりょう方があることをしめています。

自転車および歩行者専用



自てん車と歩行しゃが通行できることをしめています。

普通自転車専用通行帯



このひょうしきがあるところでは自てん車はここを通りましょう。

～豊かで安心して暮らせる地域社会づくりを～

JA共済は、皆さまが豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献するため、さまざまな地域貢献活動の一環として交通安全啓発活動に取り組んでおります。HPでは他にも交通安全教育に役立つ情報についてご紹介しております。
<https://social.ja-kyosai.or.jp/contribution/purpose03.html>

